

銀漢亭日録



伊藤伊那男

3月22日(水)▼予約のない日であったが、手伝いの松代さんがあちこちへメール入れ、硯児、酔馬、うさぎ、洋酔さんなど。小川洋さん、三輪初子さんとご主人の晁さん。

25日(土)▼「Oh!花見句会」。廻り道して成城の桜並木を通るがまだ咲いておらず、駅の木蓮は真つ盛り。句会は、超結社で四十四人!五句持ち寄り。あと二句、一句と三回。二十時頃お開き。有志と「ふくの鳥」。

26日(日)▼冷たい雨の一日。終日家。五月号の選句と決めたがついつい居眠りやテレビ。夜。スキー合宿から莉子戻り、全員揃って夕食。宮澤が丹波から手に入れてきた猪鍋。日本酒「獺祭二割三分」の封を切る。結局休養の一日。華子、中学入学式の答辞の役として文章点検する。

27日(月)▼店、「演劇人句会」十人。日の丸醸造(日本酒「まんさくの花」の蔵元)の役員、仲島さん(池田のりをさん友人)など。秋に秋田の酒蔵訪問の予定。

28日(火)▼成城の桜並木、初花確認。「萩句会」選句へ。店、閑散中の閑散。二十一時、閉めると、皆川文弘さん来店。近所の某店にて二十三時まで、盤水先生の思い出話など。

29日(水)▼「雛句会」十二人。カウンターも賑わう。大学茶道会時代の先輩、広野、八田氏来店。このお二人に悪所に案内していただいたものだ。

30日(木)▼岩野蘭科。二年振りのメンテナンス。実は一週間前、奥歯が少し欠けたため検診に。半年か一年の内にメンテの習慣つけないと……。桜二分咲きか。発行所、棚を入れて大整理へ。店、

そこそこの入り。「秋」の佐怒賀正美主宰、青柳フエイさん他。31日(金)▼冷たい雨。酔馬さんグループ花見早々に切り上げて来店八人。

4月1日(土)▼十時、運営委員会。「いもや」の海老天井。十三時、ひまわり会館にて「銀漢本部句会」五十六人。あと「テング酒場」にて親睦会。

2日(日)▼五月号原稿詰め。「春耕同人句会」休む。ランニングマシーン5km。十七時、「DASH IVY」(ダンススクール「アイビーアートスクエア」)の発表会。伶ちゃん出演。戻って龍正君十歳の誕生祝い。伊勢「豚捨」の牛肉、炭火焼で祝う。

3日(月)▼家族は箱根へ。「彗星集」書き上げて五月号終了。桜並木三分咲。「かさゝぎ俳句勉強会」あと八人。「銀化」の方々四人。

5日(水)▼桜八分咲。店、十六時から、清人さんの大学時代の離島研究会の同窓会。十一人。気仙沼の殻付き牡蠣、帆立貝、ほや、鮪の刺身など。あと「ささらぎ句会」あとの七人。「宙句会」あとの十一人など。

6日(木)▼発行所に「銀漢亭こぼれ噺 そして京都」刷り上がって到着。「十六夜句会」あと十三人。環さん二人など。

7日(金)▼華子、中学入学式答辞。明日は伶ちゃん小学校入学式と。店、佐怒賀正美、直美兄弟。「大倉句会」あとの十七名。伊那北同期の丸山君。丁度来ていた井蛙さんとは五十年振りで再会と。皆川文弘さん。

8日(土)▼昼過ぎ京都。養源院の俵屋宗達の象さんの杉戸絵。智積院。甘茶仏。亡妻の卒業した京女の女坂など散策、小雨の中。おばんざいの昼食。大谷祖廟墓参。森田家に挨拶。円山公園の枝垂桜満開。十六時半、「京都ホテルオークラ」。井上弘美さん「汀」

12日(水)▼宮澤、伊勢神宮の河合真如宮司と。河合さん退任され、執筆業務に入れられる由。私のエッセイ集にお祝金を下さる。

13日(木)▼「あ・ん・ど・うクリニク」、健康診断の結果OK!降圧剤は続ける。桜並木落花の中。この頃が一番好きである。武田さんより連絡あり、私のエッセイ集、発売前ながら現在千三百冊近く受注ありと。伊集院静さんから孫四人各々、新学期に入るにつき手紙と図書券来る。店、「極句会」十人など。

14日(金)▼奈良の深川さん弟君の入沢さん、矢野玲奈のパバさんなど。山田真砂年、山崎祐子さん。客はそれ位で、祐子さんの民俗学の話など楽しく聞く。

15日(土)▼十一時、さいたま新都心駅に大野田井蛙さんと待ち合わせ。「かのうや」にて鯉の洗い、鯉濃(鯉の身でこぼろを巻いた八幡巻)、稚鮎の天ぷら、肝焼きなど。昼前からビール、鍋島の銘酒。氷川神社の参道から盆栽町まで3kmほど歩き、さいたま市大宮盆栽美術館の「彩の国句会」へ。伊藤庄平さんをはじめ十人。句会のあと近くの居酒屋にて親睦会。あと大宮に出て魚料理の店。昼からの酒でヘロヘロ。帰宅すると成城学園仲間二家族が来ていて飲み直し。

16日(日)▼夕方から、家族の集い。四月誕生日の孫三人の祝いを兼ねて。鯨ステーキ、焼き肉、春雨うま煮、春野菜と鮪のサラダ……その他。「俳句」六月号特集。今、この時を詠む!『瞬間』の切り取り方の十句選とエッセイ。

17日(月)▼予約のない日。しかも雨。「俳句aあるふあ」の中島三紀さん、西陣の仲田陽子さん、阪西敦子さん、バリ在住のグレイス恵子さん、堀切君と夫人と琴葉ちゃん(三か月)、洋酔さんなど。

の創刊五周年祝賀会。部屋は東山一望のツインルーム用意してくれる。十八時よりパーティー。終わって朝妻力さんと町に出て居酒屋で飲む。二十二時半、別れて「木屋町サンボア」で名残の酒。ずつと雨。「餃子の王将」に寄ってホテルに戻る。ああ……また……。

9日(日)▼九時過ぎ朝食。ゆっくりくつろいで十一時前、チェックアウト。白嶺神宮、晴明神社。安良居祭の日と耳にしたので今宮神社。まずは、「あぶり餅かざりや」。雨の後のためか祭は十五時時からとて、船岡山を一周。この山が平安京の北の守り、玄武の池。朱雀通りの突き当たり。戻って「はしもと珈琲」で一服。大徳寺前を通ると鉦の音聞こえる。入ると安良居祭の一行が各院を訪ねて踊りながら行進中で祭の一端を見ることが出来る。水火天満宮、本法寺などの桜を堪能して今日庵、不審菴。町に出て四条のジュンク堂書店の仕入れ担当者訪ね、エッセイ集の宣伝。新京極の「スタンド」に入り、空いている席に坐ると向かいに何と、銀漢亭に来たことのある小西康隆さん夫妻!彼はその後、酒場呑み歩きの本を二冊出版したと。あと「たつみ」。京都駅の蕎麦店「葵」でギリギリまで飲む。眠りこけて東京へ。

10日(月)▼花冷え。超閑散。二十一時半、閉めて「天鴻餃子房」。大塚凱、いづみ、展枝さんと。羽黒山三光院の粕谷谷子様より、「銀漢俳句会」に基金頂戴する。感謝。

11日(火)▼十四時、「門」同人会に発行所貸し出し。武田、川島さんが私のエッセイ集をあちこちの書店へ売り込みに廻ってくれている。「門」の鳥居真里子さん他四人。法政大学の高柳先生が外務省のドミニカ共和国特命全権大使・牧内博幸氏、同僚の大西教授と。牧内大使は飯田出身と。「火の会」八名ほど。三井住友海上元社長の井ノ口さんと新橋の美恵子さん。